令和7年度特定給食施設講習会

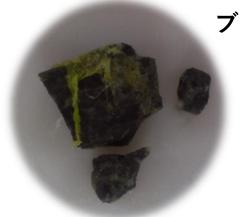
開催日:令和7年10月28日~令和8年1月8日

主 催: (公社) 和歌山県栄養士会、和歌山県、和歌山市

給食施設の給食管理 一献立作成と安全ー 第2部 安全

講 師 公益社団法人和歌山県栄養士会 資料協力 和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部

株式会社KL



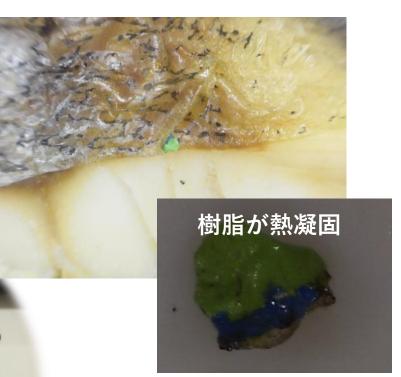
ブロッコリーに石

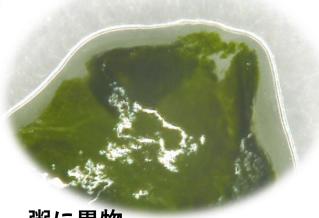
足・羽があると言う 事は・・・調理後



2016/01/18 ... 3R-MSV35

異物確認





粥に異物 患者持ち込みの海苔佃煮

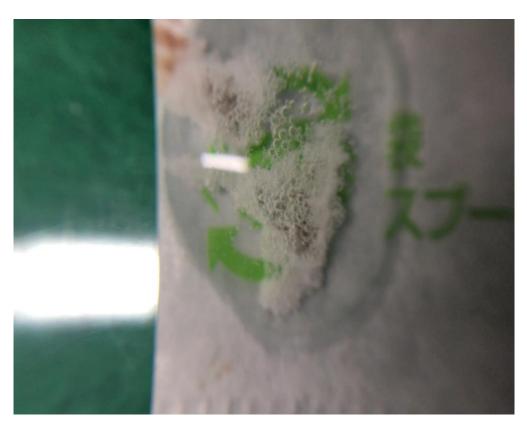


簡単に判別する方法



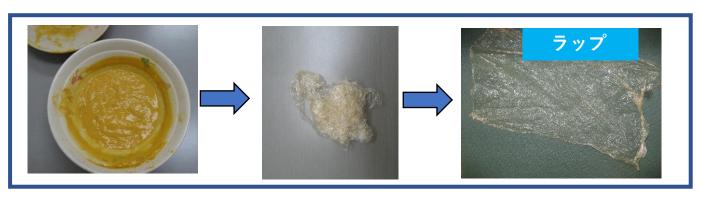
血液と違いますか?

メーカー 臭いもしないので、インク





日常調理業務で発生する異物混入



















物理的消毒法

病原体は、寒さには強いが、熱には弱い。コレラ菌は100℃で30秒、 チフス、赤痢菌は瞬間に死滅する。熱を利用した消毒法は効果的である。

① 焼却消毒 : 最も確実な消毒方法。焼却処分ができるもの

② 乾熱消毒 : 高熱の乾燥した空気による消毒。ガラス、陶器消毒に適す

③ 煮沸消毒 : 衣服、ふきん、はし、調理器具の消毒に適す。油気のある食器消毒 には1%の炭酸ナトリウムを加えた煮沸が適す

④ 蒸気消毒 : 100℃以上の流通蒸気によるものと、高圧水蒸気の方法がある。 例えば、湿熱式消毒保管庫による消毒とオートクレーブのよる滅菌

⑤ 日光消毒 : 直射日光を夏1~2時間、冬5~6時間当てる方法。効果は表面だけで、結核菌には効果があるが、消化器系感染症には効果がない

⑥ 紫外線消毒: 殺菌灯による消毒。効果は表面のみ

化学的消毒法

化学薬品による消毒方法

- ① 石炭酸(フェノール): たんの消毒、衣服、器具 毒性腐食性あり
- ② クレゾール石けん液 : 便所、衣類、金属 食器、ふきん、白衣には適さない
- ③ 塩 素 剤 : 食器、器具、まな板、水、ふきん、床、金属は腐食
- ④ 生石灰(せいせっかい): 便所、床下、ゴミだめ
- ⑤ ホルマリン
- ⑥ ホルムアルデヒド
- ⑦ アルコール:70%アルコール液、手指や器具の消毒
- ⑧ 逆性石けん:洗浄力はないが、殺菌力が非常に強い。人に対する毒性は弱い 臭いが強い中性洗剤と混ぜると効果がなくなる

化学的消毒方法は安全か? 唯一 エタノール消毒しかないのか・・・・

霧吹きで吹いた場合、アルコールが均一状態でない。



注射をする前、酒精綿で消毒 します

「塗布する」

皿に水滴があれば、 70%アルコールは薄まり、殺菌効果がおちる

保存温度 °C 100 90 65°C 80_ 以上 **70** 60 微生 50 物増 殖温 度帯 10 10°C

物理的消毒方法

ビーフステーキの中心温度

タマゴの熱変化

ベリーウェルダン 85~95℃

「すだち」防止温度 85~90度 卵白80°C 完全凝固

ウェルダン 70~85℃

卵白70℃ ほぼ凝固 ミディアム 6

 $6.5 \sim 7.0 \,^{\circ}$ C

卵黄65℃ 以上で 凝固

卵白65℃ 流動性あり

全卵 58℃ 凝固が始まる

レア

55~65°C

55℃ 20~30分で温泉卵

パスツリーゼーション(低温殺菌)

タンパク質の熱変性が小さくビタミンの損失も少ない

サルモネラは70℃1分の加熱で死滅

大量調理施設衛生管理マニュアル

O157 中心部温度 75℃で1分以上 ノロウイルス 85~90℃ 1分30秒以上 ミディアに焼いた肉、温泉卵が食べられない

タマゴとサルモネラ

(らんせい)

総排出腔 排泄と卵生が同じ消化管で行われる

On egg汚染

鶏の消化管に存在する菌が、糞便と一緒に卵殻表面に付着して 汚染される

鶏の生育環境 飼料の問題 HACCP総合管理

in egg汚染

感染している鶏の卵巣や卵管が汚染され、卵の形成過程で 卵内部に取り込まれ汚染される

検疫 ワクチン投与

ヒナの段階での腸管環境を良好な状態を作る

汚染されていない飼料で飼育

放し飼い、自然環境で生育した生みたての卵・・・新鮮?

On egg , in egg汚染がないと言えるのか?

卵かけご飯 個人の責任もある

衛生的担保がない卵に対し、何を担保に集団調理を行うか?

70℃ 1分以上の加熱でサルモネラは死滅

卵の加熱調理

卵を70℃1分以上加熱すると



とろとろのスクランブルエッグが食べられ ない



サルモネラ菌が 0 の卵がないか

衛生的で異物混入がない卵

割卵時に汚れる調理台と容器洗浄、 二次汚染問題の解決





液卵の規格基準

- 1 殺菌液卵
 - (1) 成分規格 サルモネラ属菌 陰性/25g以下
 - (2) 製造の基準
 - ア 原料卵 腐敗卵、カビ卵、異物混入卵 血玉卵、卵殻膜破損卵の使用禁止 保存時間と保存温度
 - イ 洗卵 次亜塩素酸ナトリウム溶液又は同等以上な消毒 割卵前は流水で洗浄
 - ウ 割卵及びろ過工程
 - エ 殺菌前の液卵の貯蔵
 - オ 殺菌 全卵60℃,卵黄61℃,卵白56℃ それぞれ3分30秒以上加熱
 - (3) 表示の基準

名称 原材料名 製造者氏名 所在地 食品添加物 消費及び賞味期限 保存方法 殺菌法方法

規格基準

食品衛生法に基づき成分規格や製造・加工工程、調理及び保存に関する<u>基</u> <u>準を満たし、容器包装された製品</u>

生ガキの規格基準

成分規格: 細菌数 50,000以下/1g

E.coli 糞便系大腸菌群 230以下/100g

腸炎ビブリオ 100以下/1g

加工基準: 加工工程で人口海水を使うか大腸菌群が70以下/100mlの海水で、随時 殺菌洗浄した塩水を使う

原材料のカキは、水揚げ後速やかに衛生的な水で十分洗浄しなければならない

加工器具の殺菌

ノロウイルス係る成分規格がない 海の衛生確保ができない

河川に流れ込む生活排水の終着は「海」

それでも、大腸菌群は管理している

腸内で増殖するノロウイルスは規格基準に入れるのは困難

特定給食施設講習会アンケート

・今後もより充実した講習会を開催するために、以下のQRコードからアンケートにご協力をお願いします。



